

提言 4

社会を読みとり、 社会をよりよく変えていく学びを！

- 社会に課題があるにもかかわらず、ひたすら社会への適応を子どもたちに求め、社会に適応できないのは「個人の努力不足だ」と自己責任論で切り捨てる風潮があります。社会への適応を求めるのではなく、社会をよりよく変えていく学びをすすめていきましょう。
- 貧困・格差の問題が深刻となっている中、子どもが現状を知るだけでなく、問題を解決する主体となっていく学びが必要です。そのためには、なぜそうした問題が起こっているのかを的確にとらえ、社会をきちんと読みとる学びをすすめていきましょう。
- キャリア教育では、職場体験学習や就業体験を通じて、職場の厳しさや企業の要請を知り、自己管理能力や課題対応能力などを高めていくことが求められています。しかし、現実の職場では労働者の権利が侵害されている実態があります。労働現場の実態を知り、労働環境をよりよく変え、人間らしく働ける職場をつくるための学びをすすめていきましょう。

